

議 会 だ よ り

令和8年第2回定例会

補正予算を含む全議案可決、選挙、同意他

令和8年第2回定例会は、6月4日招集され、10日までの7日間の会期で開催しました。

今期の定例会では、4名の議員が町政等について一般質問をおこないました。

なお、議決された案件の概要及び審議結果は次のとおりです。

▼ (▲150万円)、▶町債(1,130万円)

・歳出 減債基金積立金(1,513万5千円)、▶地域政策総務事業(298万2千円)、▶人事異動等に伴う職員給与費(▲1,921万円)、▶介護保険事業特別会計繰出金(152万3千円)、▶町道管理事業(▲1,725万円)、▶町道新設改良事業(▲700万円)等

⑧ 令和8年度吉野町介護保険特別会計補正予算(第1号) 【可決】

- ・補正規模 152万3千円
- ・予算総額 12億5,212万円3千円
- ・歳入 ▶繰入金(152万3千円)
- ・歳出 ▶一般管理事業(152万3千円)

(3) 契約締結 《2件》

⑨ よしのこども園保育室木質化等改修工事請負契約締結 【可決】

令和7年度の給食調理室等改修及び公共下水道接続の他面の配管工事等に継続して行うもの。各保育室の木質化、トイレ改修、照明器具のLED化、防犯カメラの整備及び外構工事

⑩ 吉野さくら学園体育館空調等整備工事請負契約締結 【可決】

近年の地球温暖化に伴う猛暑で、体育館内が危険な高温多湿となるため児童生徒の熱中症防止と、指定避難所として避難者の健康・衛生確保の観点から、空調設備の整備を行うもの

(4) 財産取得 《1件》

⑪ 動産の買入に係る財産の取得 【可決】

- ・取得品目 消防ポンプ自動車CD—I型 1台
- ・取得目的 消防防災施設整備
- ・配置場所 吉野町国栖第1分団
- ・契約方法 指名競争入札
- ・契約金額 29,095,000円
- ・契約の相手方 株式会社モリタ関西支店
支店長 高岡 雄二

(5) 選挙 《1件》

◆ 吉野町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 【選挙】

(1) 条 例 《6件》

① 吉野町税条例の一部改正 【承認】
地方税法の一部改正に伴い、軽自動車税の環境性能割廃止、個人住民税の特定配当拡大、固定資産税のバリアフリー改修工事に関する特例新設などの改正

② 吉野町国民健康保険税条例の一部改正 【承認】
地方税法施行令の改正に伴い、子ども・子育て支援納付金に関する減額規定の新設や、保険税の軽減判定所得の見直しを行う改正

③ 吉野町介護保険条例の一部を改正することについて 【可決】

令和8年度の介護保険料で地方税法改正に伴い収入調整の影響を受けた可能性のある給与所得者に対し、申請不要で減免措置を講じる規定を追加

④ 吉野町火入れに関する条例の一部を改正することについて 【可決】
申請様式に男女別とあったものを合計人数に変更

⑤ 吉野町営賃貸住宅並びに賃貸施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正することについて 【可決】
「燦上市」の賃貸住宅の入居者の資格要件において、必要ではない男女区別の表示を見直し、社会情勢の変化等を踏まえて、単身入居を認めるもの。単身者の住宅入居のニーズが高いことや、公営住宅法の改正で町営住宅や県営住宅でも単身入居を既に認めていることから単身入居の特例要件を廃止し、複数人同居の要件を整備

⑥ 吉野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正することについて 【可決】

非常勤消防団員に係る損害補償基準を定める政令の改正を踏まえ、消防団員等に対する葬祭補償の定額部分を31万5,000円から33万円に引き上げる改正

(2) 予 算 《2件》

⑦ 令和8年度吉野町一般会計補正予算(第1号) 【可決】

- ・補正規模 ▲2,229万円
- ・予算総額 64億3,771万円
- ・歳入 ▶社会資本整備総合交付金(▲3,209万円)、▶子ども・高齢者安全対策支援事業補助金

(7) 報 告 《3件》

- ◆ 令和7年度吉野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 【受理】
 - ・一般会計の7事業に係る繰越明許費の繰越額(3億2,922万2千円)等報告
- ◆ 令和7年度吉野町土地開発公社決算及び事業報告 【受理】
 - ・収益的収支 収入 6,250円
支出 0円
 - ・資本的収支 収入 0円
支出 26,190円
- ◆ 令和8年度吉野町土地開発公社予算及び事業計画・資金計画 【受理】
 - ・収益的収支 収入 42万円
支出 42万円
 - ・資本的収支 収入 1,100万円
支出 1,105万4千円
 - ・事業計画 公共用地の先行取得 1,000万円
その他付帯業務 100万円

(8) そ の 他 《1件》

- ◆ 常任委員会の閉会中の所管事務調査 【可決】

- 選挙管理委員会委員及び同補充員の方々の任期満了に伴う議会での選挙がおこなわれ、次の方々が当選されました。
- ・選挙管理委員会委員
中本 寛 氏(上市) 窪 正則 氏(窪垣内)
霧谷 年史 氏(御園) 中井 由美子 氏(山口)
 - ・同補充員
山本 和彦 氏(丹治) 西本 眞範 氏(柳)
涌本 倍行 氏(新子) 霧西 弘孝 氏(菜摘)

(6) 同 意 《13件》

- ⑫ 吉野町固定資産評価審査委員会委員の選任同意 【同意】
(固定資産評価審査委員会委員 坂口 芳延 氏任期満了による選任同意)
・辰巳 龍司 氏(佐々羅)
- ⑬ 吉野町農業委員会委員の任命同意 【同意】
(農業委員会委員12名の任期満了による任命同意)
今西 博文 氏(国栖) 岡本 隆志 氏(樫尾)
桶谷 佳世 氏(新子) 川上 暢造 氏(上市)
車谷 年秋 氏(平尾) 辻 良史 氏(香束)
中井 宣雄 氏(山口) 福本 誠一 氏(檜井)
藤本 武司 氏(柳) 森本 信雄 氏(左曽)
山田 芳雄 氏(御園) 吉住 充 氏(檀原市)

一目でわかる審議結果 【○=賛成 ●=反対 ー=欠席 △=棄権】

種別	議 員 名	議決結果	長谷政和	澤木久美子	上麻里	辻内正誠	下中一平	山本義史	上滝義平	西澤巧平	中西利彦
	議案名又は内容										
(1) 条例	① 吉野町税条例の一部改正の専決処分	承認		全	会	一	致			ー	議長は裁決に加わりません
	② 吉野町国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	承認		全	会	一	致			ー	
	③ 吉野町介護保険条例の一部を改正することについて	可決		全	会	一	致			ー	
	④ 吉野町火入れに関する条例の一部を改正することについて	可決		全	会	一	致			ー	
	⑤ 吉野町営賃貸住宅並びに賃貸施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正することについて	可決		全	会	一	致			ー	
	⑥ 吉野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正することについて	可決		全	会	一	致			ー	
(2) 予算	⑦ 令和8年度吉野町一般会計補正予算(第1号)	可決		全	会	一	致			ー	
	⑧ 令和8年度吉野町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決		全	会	一	致			ー	
(3) 契約締結	⑨ よしのこども園保育室木質化等改修工事請負契約の締結について	可決		全	会	一	致			ー	
	⑩ 吉野さくら学園体育館空調等整備工事請負契約の締結について	可決		全	会	一	致			ー	
(4) 財産取得	⑪ 動産の買入れに係る財産の取得	可決		全	会	一	致			ー	
(6) 同意	⑫ 吉野町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意		全	会	一	致			ー	
	⑬ 吉野町農業委員会委員の任命同意	同意		全	会	一	致			ー	

一般質問は次のページへ

一般質問

議員の日常の活動と町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などへ方針を問うものです。次のとおり4名の議員が町政について質問しました。



澤木 久美子

吉野町の文化・景観を 守り育てるための観光財 政のあり方について

Q 観光関連事業の財源構成の現状を可視化し、持続可能な地域づくりのための課題を提起する。観光資源を守るコストやインフラ整備を町民の税だけに頼るのではなく、受益者負担となる宿泊税等の新たな自主財源を確保し、地域の伝統やインフラへ再投資する仕組みを提案する。

A 宿泊税は観光振興や地域資源の保全に活用できる自主財源として、その意義は理解している。しかしながら、本町は宿泊者数が少なく、小規模な宿泊事業者も多いため、まずは宿泊客を増やす取り組みが先決である。負担をお願いする前に、泊まっていただける吉野をつくることが重要であり、今はその段階ではないと考えている。



長谷 政和

「賢く収縮するまちづくり」の必要性について

Q 2024年に発表された消滅可能性自治体744のうち吉野町はワースト8位。岡山県美咲町は「賢く収縮するまちづくり」を掲げ消滅可能性自治体から脱却した。町民の幸福度を高め、子どもたちに負担を残さない人口規模に見合ったまちづくりの必要性について、町の考えを問う。

A 本町の人口は、社会構造の変化や地理的条件により子育て世代を中心に町外転出者が増加し、それに起因して人口の自然減少・少子高齢化が進む状況となっている。

今後、さらに人口が減少していくことを踏まえ、庁舎整備を契機として町有施設の整理・活用を進め、町内各地域の実情に応じたまちづくりを官民連携しながら取り組んでいきたい。



辻内 正誠

定住事業としての奨学金 制度の見直しを求める

Q 現在の奨学金制度は一定期間の定住を条件としており、本来の奨学金制度の趣旨から離れたものであると考える。現条例には一定の理解を示すが、奨学金制度の本来の目的から乖離していると考え全面改定を求める。

A 現行の奨学金制度は、定住促進を第一の目的としており、一定の成果は認めるものの、「学びの支援」という奨学金本来の理念については、借りにくさや公平性の担保という点で課題がある。今後、現行制度を見直し、学びの支援を第一の目的とした、吉野町をふるさととする者に対するあたたかみのある奨学金への改正を進める。

他の質問 ●クビアカツヤカミキリの対応について（その2）



上 麻里

デマンドバスの投票所への 運行の活用について

Q 投票所へ歩いて行くことが困難な方々のために無償のデマンドバスの運行を提案。

A 期日前投票の利便性向上が進む中で、職員の減少、立会人のなり手不足など、選挙事務の負担が大きくなっている。現在、投票所の再編に向けて区長会と協議を進めているところであり、地元の理解を得ながら進めていく。また、デマンドバスを利用する期日前投票者の運賃を選挙管理委員会が負担するなど、投票機会の確保を図る取り組みを検討していく。

他の質問 ●近年の犯罪に関して（トクリュウ）の町の取り組みについて

下中一平議員

吉野広域行政組合議会 議長に就任

令和8年5月25日に開かれた吉野広域行政組合議会臨時会において、下中一平議員が同組合議会(吉野町・川上村・東吉野村で構成)の議長に就任されました。



災害に強い吉野町へ

命を守る取り組みを行いました。

シェイクアウト訓練

揺れた!その瞬間に取る行動

7月9日、役場本庁舎において、地震発生時の対応として、シェイクアウト訓練を実施しました。
この日は「奈良県地震防災の日」で同時刻一斉に、県下それぞれの場所において、地震から身を守る行動の確認を行うことにより、地震災害のリスクや地震発生時の安全確保行動に関する理解を促進する目的でシェイクアウト訓練が行われました。当町でも、実施時刻に1分間、役場本庁舎内に在庁している職員や来庁者が一斉に「身の安全を確保する行動」を取る訓練を実施しました。



来庁者用ヘルメットも配置しています。



地震発生を想定し、館内放送にて、訓練開始の放送が入った後、

- ①姿勢を低くする
 - ②手で頭を守る
 - ③机、テーブルの下に入り、動かない
- といった姿勢をとります。

揺れた!と感じた時、瞬時に行動が取れるよう日頃から地震から身を守る行動を意識しましょう。

閻総務課 TEL(32)3081